

船舶インシデント調査報告書

平成22年11月18日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 横山 鐵 男（部会長）
 委員 山本 哲 也
 委員 根本 美 奈

インシデント種類	運航不能（機関損傷）
発生日時	平成22年5月22日（土） 17時30分ごろ
発生場所	石川県志賀町安部屋港西方沖 安部屋港防波堤灯台から真方位276° 1.1海里付近 （概位 北緯37° 01.0′ 東経136° 43.3′）
インシデント調査の経過	平成22年6月1日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（神戸事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	モーターボート ジェット ストリーム、5トン未満 232-15489富山、個人所有 6.86m (Lr) × 2.90m × 1.57m、FRP ガソリン機関、139kW、平成元年7月4日
乗組員等に関する情報	船長 男性 42歳 二級小型船舶操縦士 免許登録日 平成22年5月14日 免許証交付日 平成22年5月14日 （平成27年5月13日まで有効）
死傷者等	なし
損傷	主機（船内外機） 船内機直結発電機の界磁コイル焼損
インシデントの経過	本船は、船長1人が乗り組み、安部屋港西方沖を北進中、平成22年5月22日17時30分ごろ、主機が停止し、その後、運転ができなくなった。 本船は、18時22分、118番通報して救助を依頼し、来援した巡視船によって、最寄りの港にえい航された。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 東、風力 1、視界 良好 海象：穏やか
その他の事項	本船は、船内機（ガソリン機関）の機関内外部及びスターンドライブには損傷はなかった。 本船は、船内機直結発電機の界磁コイルの焼損が発見されたため、新品に交換したところ、正常な運転ができるようになった。 発電機の界磁コイルは、就航以来、点検、整備及び取替が行われていなかった。

分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	なし あり なし 本船は、安部屋港西方沖を北進中、船内機直結発電機の界磁コイルが焼損して発電しなくなり、点火プラグが着火しなくなったものと考えられる。 発電機の界磁コイルは、経年劣化して発熱した可能性があると考えられる。
原因	本インシデントは、本船が、安部屋港西方沖を北進中、船内機直結発電機の界磁コイルが焼損して発電しなくなったため、点火プラグが着火しなくなったことにより発生したものと考えられる。	